

SHIZUOKA

J・O・U・R・N・A・L

Vol.25 No.2 2015 (通巻194号)

目 次

巻頭言	中部地区会長……………	1
会告	第21回 静岡県放射線技師学術大会……………	2
	・演題募集	
	・演題区分表	
	・演題申込用紙	
	第9回 医療安全セミナー (12/12)……………	5
	第28回放射線技師のためのセミナー (1/16)……………	6
	新春公開講演 (1/23)……………	7
	第24回アール祭 (1/23)……………	8
	第57回東海四県放射線技師学術大会 (岐阜) (2/11)……………	9
	第44回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会 (2/14)……………	10
	第28回日本消化器画像診断情報研究会 静岡大会 (2/20~21) ……	11
	平成27年度静岡県放射線技師研修会 (3/19)……………	12
	第46回アンギオ部会研修会・第4回静岡MRI技術研究会 (H28/3/19)……………	13
	肺がん検診エックス線撮影従事者講習会 (H28/3/26)……………	14
報 告	第26回放射線技師のためのセミナー (6/27)……………	15
	第5回フレッシュャーズセミナー (7/4)……………	16
	第26回乳腺画像部会 (7/11)……………	17
	第36回静岡ふれあい広場 (9/6)……………	18
	平成27年度 第1回業務拡大に伴う統一講習会 (9/19~20) ……	20
学術論文	第26回乳腺画像部会 (7/11)……………	21
	メッセージボード……………	25
	本会の歩み……………	28
	会員動静……………	29
	本会への寄贈図書……………	30
	平成27年度 第2回理事会議事録 (8/29)……………	31
	行事予定カレンダー……………	41



公益
社団法人

静岡県放射線技師会

『ポジティブシンキング』

公益社団法人静岡県放射線技師会 組織理事 中部地区 会長 望月 浩正



物事は捉え方一つで何でも変わる。私は常日頃そう思っています。

今回このような出だして書き出した巻頭言ですが、お話をいただいた時、技師会関係の話？診療放射線技師に関係する話？自分に堅苦しい文章なんてかけるはずがなく、正直一体何を書けばいいのか？と悩みました。

それと同時に、私が如何にこれまでの人生を平々凡々と過ごしてきたか身に沁みて感じました。これは大変だ。出来るはずがない。大抵の人はそんなネガティブな考えが先行し悩んでしまいがちです。しかし、物事の捉え方を変えてみるとこのような機会などあまりないので、むしろ良い経験をさせていただける。堅苦しい話でなくてもいいのではないか？私の性格のおかげなのか、物事の捉え方をポジティブに考えてみたら何か吹っ切れた気がしました。

私は普段、自分からあまり行動を起こさない後輩に言っている言葉があります。

“やる気のない奴と嘘つきは大嫌いだ！”

人は生活するうえでこれはちょっと無理なのでは？と思うことが多々あると思います。診療放射線技師の仕事上でも無論いっぱいあると思います。

面倒なことがあるとやりたくない、そのために軽い嘘（言い訳）をつくこともあると思います。

実は、私がこういうことを口に出すようになったきっかけは、若い頃から自分自身が面倒くさいという言葉をよく使い現実逃避傾向であったという背景がありました。

でも後から考えてみると、なんであの時やらなかったのか？そんな思いが後からじわじわと湧きあがってきました。ネガティブに捉えれば捉えるほど、自分自身が不快になってしまい大変損をした気分になってしまうことに気付きました。

歳を取ったと言えはそれまでですが、正直そんな自分自身の経験を後輩たちにはさせたくないという思いやり？いや本当は有難迷惑な理由が口癖の始まりでした。

そんな私が診療放射線技師の資格を取り二十数年になります。自分の若い頃と比べて、現在は診療放射線技師の資格以外に様々な資格を取得するのが当たり前のようになっています。そのために日々の業務をこなしながら勉強をしていかなければいけません。

正直あれは意味がない、やっても価値がない、あんな難しい試験受かるはずがないというネガティブな考え方の人もいると思います。でもそのような物事の捉え方を変えて、意味がないなんてやってもいいのに後から後悔するなら受けてみよう！難しい試験で、もし受からなくても自分の足りないところを発見できる。そして次に繋がる。そんな風に捉えてみたらいいのではないのでしょうか？

放射線技師会への参加・活動にもそれは当てはまると思います。知らない人と何かするのが面倒だ、普段の仕事が忙しいのに出来るはずがない。

そのような思いの捉え方を変えて、“新しい出会いが楽しみだ、全てではなく参加できることは参加しよう！”そんな風に考えることが出来る様になれば、新しい発見と充実感を得ることが出来ると思います。私は本当に実際そう思いました。

でも誤解をしないでいただきたいのですが、人それぞれの性格やペースというのがあります。無理する必要はありません。もちろん絶対出来ないこともあります。

それでもネガティブ傾向の人は、少しずつポジティブシンキングへと自分を変える努力をすればきっとこれからの自分自身にとっての大きな武器になるでしょう。でも決して焦らないで一歩ずつ行くことが大事です。

会 告

第21回静岡県放射線技師学術大会 演題募集

平成28年5月29日（日）において、第5回（公社）静岡県放射線技師会定時総会及び第21回静岡県放射線技師学術大会を開催いたします。

開催にあたり、本学術大会において研究発表演題を下記により募集いたしますので、多数の演題をお寄せくださいますようご案内申し上げます。

記

【日 時】 平成28年5月29日（日）

【会 場】 プレスタワー 17階 静岡新聞ホール
〒430-0927 静岡県浜松市中区旭町11-1
TEL：053-455-2001

【発表形式】 ①口述発表 発表時間 7分 討論 3分

②液晶プロジェクターを使用したP Cプレゼンテーション

（Windows用Microsoft Office Power Point 2010）を基本とします。

【発表資格】 発表者および共同発表者は、平成27年度会費完納の会員および賛助会員に限り
ます。会費未納者を含む演題申し込みはできませんのでご注意ください。

【応募方法】 静放技ホームページ（<http://shizuhogi.jp>）にて演題申込書をダウンロードし
てください。必要事項を記入したうえで、電子メールに添付し、件名に「演題
申込」と明記して下記アドレスまで送信してください。

演題申込メールアドレス：endai.entry@shizuhogi.jp

【受理通知】 演題受理の通知を、申込みメールアドレスに返信します。申込み後7日を経過
しても通知のない場合は、通信トラブル等考えられますので、お問い合わせく
ださい。なお、演題採用者には後日抄録集の作成に協力いただきます。

【締め切り】 平成28年1月24日（日）必着

【お問い合わせ】

静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202
（公社）静岡県放射線技師会 TEL 054-251-5954
FAX 054-251-9690

演 題 区 分 表

演題主区分	区分番号	区 分 内 容
X 線 撮 影	A	単純・造影・断層撮影技術 アンギオ・DSA・CR・DF撮影技術 機器、補助具、品質管理 感光材料、画像評価 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
X 線 C T	B	CT撮影・処理技術 機器、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
M R I	C	MRI撮影・処理技術 機器、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
核 医 学	D	インビトロ（試料測定一般） インビボ（体外測定一般） 機器、画像処理技術、品質管理 放射性医薬品、臨床応用、その他
放 射 線 治 療	E	治療計画・照合・計測、照射技術 機器、補助具、品質管理 ラジオサージェリー、小線源照射、温熱療法 その他
超 音 波	F	検査技術一般、臨床応用 機器、品質管理、その他
そ の 他 の 検 査	G	骨塩定量検査・機器 体外衝撃波結石破碎装置 眼底撮影、その他
放 射 線 管 理	H	放射線管理一般、法令 被曝防護、特性・遮蔽計算、その他
画 像 情 報	I	フィルム特性、現像機、レーザーイメージャー 画像解析、画像評価、画像処理技術 PACS画像通信・保存、インターネット その他
情報管理・運営	J	業務統計処理、診療報酬 オーダーリングシステム、その他
ペーシェントケア	K	

平成 年 月 日

第 21 回 静岡県放射線技師学術大会

演題申込用紙 (平成 28 年 1 月 24 日 (日) 必着)

演 題 名 (区分番号)	() 演題区分表参照		
	所属施設・部署	会員番号(必須)	氏 名 (フリガナ)
発 表 者			
共同発表者			
演 題 予 稿 原 稿 (300 字程度に おまとめくだ さい)			
代表者連絡先	氏 名		
	住 所		
	〒		
	所 属		
	TEL (内線)	FAX	
	E-mail		
通 信 欄			

※ご記入内容は予稿集の作成データとなります。お間違えのないようにお願いいたします。

送付先 E-MAIL : endai.entry@shizuhogi.jp TEL : 054-251-5954

会 告

第9回 医療安全セミナー開催について

2015年4月1日に診療放射線技師の業務内容の拡大として診療放射線技師法改正が施行されました。

そして、業務拡大を行うための絶対条件として医療の安全を担保する事が求められています。

今回はその業務拡大の1つ「静脈注射後の針の抜針・止血」に関して、すでに取り組んでいる施設に会員発表をしてもらい、今後実施する為の参考になればと思っております。

また、シンポジウムとして2015年5月8日に発生した胃X線検診死亡事故に関連して今後の機器安全対策を装置メーカーに、Baの安全性を薬剤メーカーに、そして実際に撮影する際、どんな注意をしているかを会員にそれぞれ発表してもらい、皆さんとともに討議したいと考えております。

【日 時】 平成27年12月12日(土曜日) 14時00分～

【場 所】 静岡県放射線技師会事務所

〒420-0064 静岡市葵区本通り 1-3-5 フェリス本通202号

【参加費】 無料

【内 容】

- | | |
|-------------|---|
| 13:30～14:00 | 受 付 |
| 14:00～15:00 | 解 説「診療放射線技師法改正と業務拡大について」
会員発表「静脈注射後の針の抜針・止血」 <ul style="list-style-type: none">・ 東部施設 共立蒲原総合病院・ 中部施設 市立島田市民病院 |
| 15:00～17:00 | シンポジウム「胃部X線撮影の安全対策について」 <ul style="list-style-type: none">・ 機器メーカー 島津製作所・ 薬剤メーカー 伏見製薬・ 西部施設 聖隷健康診断センター |

静岡県放射線技師会事務所におきましては、無料の駐車場は用意しておりません。

参加者は、有料の駐車場をご利用頂くか、公共の交通機関をご利用してご参加ください。



J R 静岡駅から

- ・ 駅から徒歩 (所要時間: 20分)
- ・ 静岡駅北口、バスターミナルから、本通り 6 丁目方面 (80,84,85,92,96,97,98) に乗車し、「本通り 3 丁目」にて下車。(所要時間: 10分)

静岡県放射線技師会事務所
静岡市葵区本通 1 丁目 3 番地 5
フェリス本通り 202 号
TEL 054 (251) 5954

会 告

『第28回放射線技師のためのセミナー』

第28回放射線技師のためのセミナーを下記の通り予定いたします。

今回は、「散乱線補正・除去処理」をテーマに取り上げました。今後の一般撮影業務へのヒントが沢山得られるのではないかと思います。多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

【日 時】 平成28年 1 月16日(土)

13:30～17:10 (受付13:00～)

【場 所】 静岡県放射線技師会新事務所

静岡市葵区本通一丁目3番地5

フェリス本通202号

【参加費】 1,000円

【内 容】

1. 最新技術講演 「最新の散乱線補正・除去技術と製品紹介(仮)」 13:30～15:00

2. 会 員 発 表 「使用経験」 15:00～16:00

沼津市立病院

静岡市立清水病院

聖隷三方原病院

3. 特 別 講 演 16:00～17:10

「一般撮影を使いこなそう！

～各社の散乱線除去処理を中心に～」

奈良県立医科大学附属病院

中前 光弘 先生

セミナー終了後、情報交換会を開催する予定です。

詳しくは、静岡県放射線技師会 管理士部会のページでご確認ください。

セミナー受講者には、日本診療放射線技師会 学術研修カウントが付与されます。

会 告

『新春公開講演会開催』

新春公開講演会を下記の通り開催致します。

公開講演では、救急外来の実情を症例など交えた講演により、急いで救急外来を受診すべき症状などを理解します。また教育講演では、改訂された最新のX線CT撮影ガイドライン（GALACTIC2015）の講演により、X線CT撮影技術の理解を深め、各施設の画質と被ばく線量の最適化の再考の一助とします。

つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

講演会終了後、懇親会としてアール祭を開催いたします。新年のご挨拶の場、親睦を深める場としてご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 平成28年1月23日（土） 13：30～16：20

【会 場】 静岡商工会議所静岡事務所会館 5F ホール

〒420-0851 静岡市葵区黒金町20-8 Tel：054-253-5111

※ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。

【内 容】

13：30～ 受付

13：55～14：00 会長挨拶

14：00～15：00 公開講演

『救急外来を受診すべき症状～こんな時は急いで救急外来へ～』

講師：中東遠総合医療センター 救急科部長

兼救命救急センター長兼ICU・CCUセンター長 松島 暁 先生

座長：中東遠総合医療センター 中山 修 会員

15：00～15：15 休憩

15：15～16：15 教育講演

『X線CT撮影における標準化の改訂～GALACTIC2015の要点解説～』

講師：X線CT撮影における標準化の改訂班 班長

千葉市立海浜病院 高木 卓 先生

座長：浜松医療センター 有谷 航 会員

※引き続き親睦会（アール祭）が開催されます。

詳細につきましては別紙会告にてご確認ください。

＊ 技師会員はIDカードをご持参ください。

会 告

『第24回アール祭開催』

新春公開講演会終了後、第24回アール祭を開催いたします。
新年のご挨拶の場、親睦を深める場としてご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 平成28年 1 月23日(土) 17:00～

【会 場】 静岡第一ホテル 2 階 駿河の間

〒422-8066 静岡県静岡市駿河区泉町 1-21
TEL 054-281-2131

【内 容】 第24回アール祭（新春祝賀会）並びに叙勲祝賀会

【会 費】 正会員 5,000円

賛助会員 5,000円



会

告

『第57回 東海四県放射線技師学術大会並びにレントゲン祭』

大会テーマ 超高齢社会に求められる放射線診療

【日 時】 平成28年 2月11日(木・祝) 9:00~16:00

【場 所】 じゅうろくプラザ ホール
岐阜市橋本町1丁目10番地11 (058) 262-0150 [代]

【当 番】 公益社団法人 岐阜県診療放射線技師会

【参加費】 会員1,000円 非会員2,000円、学生500円(学生証提示)

【共 催】 東海四県放射線技師会/富士製薬工業株式会社

プログラム

	総合司会	(公社)岐阜県診療放射線技師会	増田	豊
9:00~9:30	受付			
9:30~9:35	当番県挨拶	(公社)岐阜県診療放射線技師会会長	安田	鋭介
9:35~9:40	レントゲン祭	(公社)岐阜県診療放射線技師会	吉川	典子
9:40~9:50	情報提供	富士製薬工業株式会社		
9:50~10:50	講演1	座長	増田	豊 会員
	「高齢化社会における人工関節撮影と画像の役割」			
	奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部 副技師長	安藤	英次	先生
10:50~11:50	会員発表	座長 とうかい整形外科かわげ	難波	一能 会員
	「各施設における下肢荷重位撮影」			
	①岐阜 岐阜大学医学部附属病院	八重樫	良平	会員
	②三重 鈴鹿回生病院	山口	智也	会員
	③愛知 米田病院	角谷	法彦	会員
	④静岡 聖隷三方原病院	大橋	輝也	会員
12:00~12:50	ランチョンセミナー	座長 市立島田市民病院	池谷	正治 会員
	仮題「腰椎立位PA半切撮影」			
	医療法人育和会 育和会記念病院	湯山	浩	先生
13:00~14:00	特別講演	座長 名古屋第二赤十字病院	猪岡	由行 会員
	「高齢者と造影剤マネジメント」			
	群馬大学医学部附属病院 核医学科・画像診断部 教授	対馬	義人	先生
14:00~15:45	シンポジウム	座長 (公社)岐阜県診療放射線技師会	加藤	秀記 会員
			多湖	博史 会員
	「超高齢社会に求められる放射線診療」			
	①岐阜 一般撮影・X線TV	大垣市民病院	藤原	宏 会員
	②三重 RI・PET	三重大学医学部附属病院	富田	陽也 会員
	③静岡 X線CT・MR	聖隷浜松病院	望月	卓馬 会員
	④愛知 放射線治療	岡崎市民病院	箕浦	健一郎 会員
15:45~16:00	(公社)岐阜県診療放射線技師会 第32回JCRTの案内			
	(公社)日本診療放射線技師会地域功労表彰			
	次期当番県会長挨拶 一般社団法人三重県診療放射線技師会			
16:00~	(公社)日本診療放射線技師会	理事 挨拶	畦元	将吾

会 告

『第44回(第1回静岡県) デジタルマンモグラフィ品質管理講習会』

静岡県内で初めてデジタルマンモグラフィ品質管理講習会を開催致します。

静岡県内は、デジタルマンモグラフィ撮影装置の普及率が高く、多くの施設でデジタルシステムが導入されています。

精度の高い品質管理を行っていただければと思います企画を行い、日本乳がん検診精度管理中央機構のご協力を頂き、静岡県内で初めてデジタルマンモグラフィ講習会を開催することになりました。

撮影技術認定を取得されている方は、是非受講していただければと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

【日 時】 平成28年 2月14日 (日)

【場 所】 中東遠総合医療センター
静岡県掛川市菖蒲ヶ池 1-1

【対 象】 撮影技術認定を取得している
医師、診療放射線技師 39名
(県内施設に勤務されている方が優先となります)

申し込み方法など詳細は、静岡県放射線技師会ホームページをご確認下さい。

会 告

『第28回 日本消化器画像診断情報研究会 静岡大会』 ～読影補助時代に求められる消化器画像～

大会長：佐藤慎祐(浜松南病院) 実行委員長：平野昌弘(聖隷予防検診センター)

【会 期】 平成28年 2月20日(土)～2月21日(日)

【会 場】 アクトシティ浜松コンgresセンター
(浜松市中区板屋町111-1)

【参 加 費】 会員・非会員・学生問わず
事前参加登録 3,500円 当日参加登録 4,000円
*大会ホームページからの登録となります。

【内 容】

(1) 招待講演

「胃がんX線・病理対比～見逃してはならない癌の発育進展様式～」

J A北海道厚生連 札幌厚生病院 臨床病理科 市川 真 先生

(2) パネルディスカッション「注腸の読影補助」

基調講演 入口 陽介 先生

(3) シンポジウム「小腸検査の読影補助」

司会・講師 大澤 恵 先生

(4) 教育講演「胃がん検診における読影補助(仮)」

講師 小田 丈二 先生

(5) 教育講演「急性腹症のCT撮影技術と読影補助について(仮)」

講師 五十嵐達也 先生

(6) 教育講演「胃がん検診における背景胃粘膜を考慮した読影について(仮)」

講師 吉川 裕之 先生

(7) 新・VS読影(過去2大会からバージョンアップ!!) 対戦チームがお互いの症例を出し合い読影します。

(8) CT-Cハンズオンセミナー(中上級者向け)

講師・指導医 飯沼 元 先生

(9) USハンズオンセミナー「日ごろのお悩み解決」～肝・胆・脾・消化管領域～

(10) 消化器領域のMRI撮影に関するセッション

(11) 共催セミナー

- | | | |
|-------------------|---------------|------------|
| ・アフタヌーンセミナー(2/20) | ①X線・内視鏡に関する講演 | ②超音波に関する講演 |
| ・モーニングセミナー(2/21) | ①超音波造影剤に関する講演 | |
| ・ランチョンセミナー(2/21) | ①CT-Cに関する講演 | ②他(交渉中) |
| ・CTに関するセミナー | ①CT-C注入器メーカー | ②装置に関すること |

大会ホームページ <http://sites.google.com/site/nishouken28/>

*本大会は日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門認定技師制度、資格更新のための2点が付与されます。

*日本X線CT専門技師認定機構 単位認定講習会として講師(演者)1単位、受講者6単位が付与されます。



会 告

『平成27年度 静岡県放射線技師研修会』

「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」の中で、診療放射線技師の更なる役割として、画像診断における読影の補助を行うことが1つとして求められています。

平成25・26年度は「上部消化管検査・超音波における読影補助業務」をテーマに研修会を開催しました。

今年度はCT MRI、そして読影をするための環境整備も必要な補助業務と考え、下記のように研修会を開催いたしますのでご参加下さい。

記

【日 時】 平成28年3月19日（土）

【場 所】 静岡県産業経済会館 第1会議室

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 TEL 054-273-4330

【参加費】 会員：無料 非会員：2,000円

*会員はIDカードをお持ち下さい。*公共交通機関をご利用下さい。

【内 容】

プログラム

14:00 受付

14:25 開会

14:30～15:30

「読影に必要なアイテム レポートシステム・PACS・

高精細モニタ・遠隔読影について放射線技師の関わり方」

フジフィルムメディカル株式会社 講師 未定

15:40～17:10

特別講演

「放射線医師から見た、放射線技師の読影業務についてCT MRI検査の関わり方」

講師 新東京病院 放射線科部長 能城 毅 先生

17:15 閉会

会 告

『第46回アンギオ部会研修会・第4回静岡MRI技術研究会』合同研究会

今回は、テーマを腹部領域に絞って、企画いたしました。

開催日程：2016年3月19日(土) 13:30～18:00

受付：13:00～

会場：ペガサート 6F B-nest プレゼンテーションルーム

会場整理費：1000円

一プログラム一

13:30～14:00 共催メーカー情報提供

14:00～15:20 基調講演

1. 「頭部コーンビームCTの撮影技術と活用法について (仮)」 20分
2. 「頭部IVRの被曝について (仮)」 20分
3. 「MRエラストグラフィの臨床経験 (仮)」 40分

15:20～15:30 休憩

臨床講演

15:30～15:50 4. CT「腹部領域CT撮影技術について (仮)」

15:50～16:10 5. MRI「小児腹部MRI撮影技術について (仮)」

16:10～16:30 6. アンギオ「腹部アンギオについて (仮)」

16:30～16:45 休憩

16:45～17:45 教育講演

「膵管癌と膵嚢胞性疾患の画像診断 (仮)」

山梨大学医学部附属病院 放射線科 市川新太郎 先生 (予定)

* 本会は、

1. 日本磁気共鳴専門技術者認定機構により、磁気共鳴専門技術者更新点数5単位
2. 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構の認定講習会
3. 日本救急撮影認定機構の認定講習会

の認定を受けております。

4. CT認定技師更新点数単位申請中

共催：バイエル薬品株式会社

会 告

『肺がん検診エックス線撮影従事者講習会』開催

下記の通り、肺がん検診エックス線撮影従事者講習会を開催します。
多数の会員の皆様方にご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

【日 時】 平成28年 3月26日 (土)

14:00～15:15

【会 場】 静岡県総合研修所 もくせい会館

第一会議室

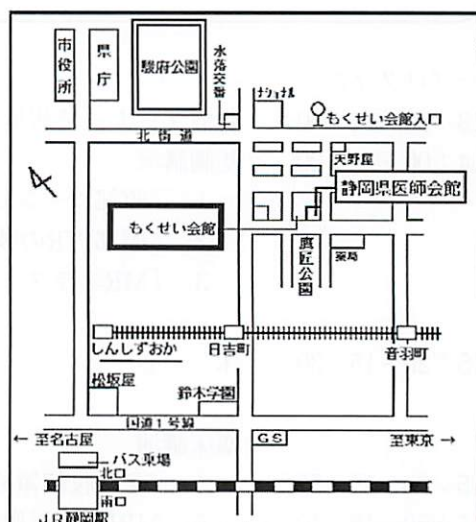
〒420-0839

静岡市葵区鷹匠3丁目6-1

TEL 054-245-1595

(交通機関)

- ・ JR静岡駅北口よりタクシーで10分
- ・ 静岡駅北口から出るバスに乗車
「水落町もくせい会館前」で下車、徒歩2分。



【共 催】 静岡県対がん協会、(公社)静岡県放射線技師会

【後 援】 (一社)静岡県医師会

～プログラム～

13:30～ 受付

14:00～15:15 『肺がんの外科治療最前線 2015』

静岡県立 静岡がんセンター 呼吸器外科 医長 井坂 光宏 先生

* 放射線技師会会員はIDカードをご持参ください。

第26回 放射線技師のためのセミナー 報告

平成27年 6月27日(土)
(公社)静岡県放射線技師会事務所

今回のセミナーは、静岡県放射線技師会事務所で開催し、参加者は37名でした。

「最新装置と被ばく低減技術の紹介」のセッションでは、メーカーによる製品紹介と最新技術についてプレゼンをして頂きました。株式会社島津製作所より透視装置を中心に、X線の特徴から被ばく低減技術までの幅広い説明がありました。被ばく低減においては、X線の特徴、装置の設計、アプリケーション、画像処理のそれぞれの観点からの取り組みについて説明がありました。中でもX線が出ていない状態でコリメーター操作ができるバーチャルコリメーターや、泌尿器対応コリメーションなど、装置の設計レベルでの被ばく低減技術が優れていました。次に、GEヘルスケア・ジャパン株式会社よりCT装置を中心に、被ばく低減技術の説明がありました。RevolutionCTでは、トレードオフの関係にある空間分解能、カバレッジ、時間分解能を融合し、それぞれの長所を生かした設計がなされていました。新開発のガーネット検出器ではデータサンプリングレートが3.6倍になり、全身領域で空間分解能が33%向上しています。またSnapshot Freezeを使うことで、最短23msecの実行時間分解能を実現、160mmのワイドカバレッジは撮影時間の短縮や被ばく線量の低減に寄与しています。次世代の逐次近似再構成であるASiR-Vでは、最大82%の被ばく低減が可能だという事でした。

会員発表では、「教育訓練」についての現状を発表して頂きました。放射線障害防止法で定められている教育訓練のみではなく、院内で行われている放射線教育全体の現状についての紹介をお願いしました。富士宮市立病院の酒井洋和会員からは、関係法令に基づく教育訓練の他に、院内研修、院外研修を行っているとの発表がありました。院内

研修では科内主催の勉強会を開催しており、公開勉強会も開催しているとの事でした。次に島田市民病院の畑利浩会員からの発表では、診療放射線技師、放射線科看護師、医師向けに教育訓練をおこなっているとの発表がありました。勤務の都合を考慮し、同じ内容の訓練を2～3回行うという事でしたが、参加人数があまり多くないという課題があるとの事でした。浜松医療センターの中村文俊会員からは、関係法令に基づく教育訓練の他に、新人オリエンテーションや放射線科に配属された看護師向けに教育訓練を行っているとの発表がありました。また、科内で被ばくに関する勉強会を行い、「被ばくQ&A」を作成し、被検者からの質問に答えるための資料を電子カルテ上に公開しているとの事でした。

最後に特別講演として、「日本の放射線診断における診断参考レベル(DRLs)とその目的」について、藤田保健衛生大学の鈴木昇一先生の御講演を賜りました。DRLを策定するまでの国際的な動向からその目的まで、大変解り易く御説明して頂きました。DRL使用の目的は、

- 正当化されない線量が多すぎたり少なすぎたりした場合、その地域、国家の線量を改善
- より特定の医療画像診断を良質に行うための、より狭い範囲での到達の促進
- ある特定の医療画像処理プロトコルのために最適な線量範囲に到達することを促進

であり、我々診療放射線技師もその意味を十分に理解する事が必要です。また今後、医療被ばくに対する線量の最適化がさらに加速すると思われるますが、診療放射線技師の真価が問われている事を再認識した御講演でした。

第5回 フレッシューズセミナー 報告

平成27年7月4日(土)
静岡県放射線技師会事務所

平成27年7月4日に静岡県放射線技師会事務所にて、第5回フレッシューズセミナーを開催しました。

本セミナーは日本診療放射線技師会が主催し各県放射線技師会において平成23年度より毎年開催されています。

日本診療放射線技師会は平成13年度、会員数が約32,000名であったのですが、ここ数年で団塊の世代の方々の退職や技師会離れが進み、現在では28,000名程度と減少してきています。これは静岡県においても同様です。この状況に歯止めをかけるべく、特に新人の方を対象とし、技師会活動の理解を深めていただくこと、また医療者として必要な基礎知識を身につけ、医療及び保健・福祉の向上に努めることを目的として開催しました。

当日は梅雨のどんよりした曇り空のなか、参加人数は合計16名でそのうち新卒者は15名と今年度も当初の想定より伸び悩んでしまいました。

内容としては、入会案内、ランチョンセミナー、エチケット・マナー、医療安全、感染対策、胸部・気管支解剖でした。

入会案内は山本英雄副会長から職能団体としての日本診療放射線技師会の活動、静岡県放射線技師会の歩みや会員の動向及び会費についての説明があり、会員になって頂けるように働きかけました。

ランチョンセミナーは日本メジフィジックス社のご協力のもと、放射線被ばくについてご講演がありました。内容は放射線の基礎的な単位、放射線被ばくの影響を他の事象に例えての説明、患者様から被ばく相談を受けた際の対処方法など、放射線被ばくについての基礎的な事でした。

エチケット・マナー講座では身だしなみや挨拶など基本的なことを中心に、対応する技師の接遇

によって与える印象が様々であることや、電話の対応、電子メールの書き方などの説明がされました。

医療安全講座では、基本的な考え方や医療安全の確立における今までの経緯を説明し、過去に報道された事例の紹介、講師自身が体験した事例を紹介しました。身近な事例を知ることにより、医療事故の発生率や重篤度を抑制できるなどの説明がされました。

感染対策講座では、空気、飛沫、接触による感染経路や感染症の事象を中心に、直接患者さんに触れるケースが多いために、自身がいかに清潔を保ち、患者さんからの感染を防ぐかの説明がされました。

胸部・気管支解剖講座は、気管支の走行や支配について画像を参考にしながら、気管支の分岐(10分枝)を体操仕立てにした気管支体操を交えて習得してもらいました。また、一般撮影とCT画像を用いて肺の機能や疾患についての説明がされました。

これらの内容は、勤続年数に関係なく知っておかなければならない事であり、常に必要な知識でもあります。しかし、今年度も参加者が少ないのが現状でした。今後の運用については協議・検討し、もっと魅力ある内容で開催しなければならないと感じました。



生涯教育委員 曾我 隆正

第26回乳腺画像部会 トモシンセシスについての研修会 報告

平成27年7月11日(土)
中東遠総合医療センター

平成27年7月11日中東遠総合医療センターにて、
第26回乳腺画像部会研修会を開催いたしました。
参加者人数は44名でした。

【内容】

〔メーカー講演〕

『MicroDoseSI 技術紹介』

PHILIPS エレクトロニクス ジャパン

『トモシンセシスについて 装置紹介』

シーメンス・ジャパン

日立メディコ

富士フイルムメディカル

GEヘルスケア・ジャパン

〔特別講演〕

『トモシンセシスの使用経験』

聖路加国際病院附属クリニック・予防医療センター

秋山 忍 先生

〔WSデモ〕

メーカー各社

(PHILIPS エレクトロニクスジャパン、日立メディコ、シーメンス・ジャパン、GEヘルスケア・ジャパン)

メーカー講演では、少ない被曝線量で高画質の画像が得られるフォトカウンティングやトモシンセシスについてご講演いただきました。トモシンセシスについては4社がご講演していただき、管球の振り角、撮影時間、画像処理技術など機器ごとの特徴を理解することが出来ました。

特別講演では、秋山先生にトモシンセシスの使用経験を診療・検診それぞれの視点からご講演していただきました。撮影時の機械の動きや画像、トモシンセシスを使用しカテゴリー変化のあった症例、運用方法などご講演していただき、トモシンセシスを使用したことのない技師も、導入した際のイメージを持つことが出来ました。



WSデモでは、4社がワークステーションを用意して下さいました。トモシンセシスの画像を閲覧させて頂き、ビューワの使用法や所見がどのように見えるのかを説明して頂きました。参加者の皆様は、トモシンセシスの画像をとっても興味深く見ていました。また、一度に4社もの画像を見ることはあまりないので、いい機会が得られたと思います。

研修会開催に関して、ご尽力いただいた秋山先生、業者様、会場を提供していただいた中東遠総合医療センターの皆様、参加者の皆様ありがとうございました。

乳腺画像部会 聖隷沼津病院 平野 裕子



第36回 静岡ふれあい広場 参加報告

平成27年9月6日(日) 9:30~14:00
静岡市葵区 青葉シンボルロード

今年も9月6日(日)に静岡市社会福祉協議会が主催する「第36回静岡ふれあい広場」に参加いたしました。

静岡県放射線技師会の参加は、日本放射線技師会の定める「レントゲン週間」の一環として参加しており、今年で19回目の参加となります。レントゲン週間では、医療における放射線の管理者として、正しい知識を皆様にお伝えするとともに、医療現場における私たちの仕事を知っていただくイベントを行っています。

静岡県放射線技師会は、ふれあい広場というイベントを通して、多くの県民の皆様と直接ふれあい、病気や検査方法、医療放射線の利用、医療被ばくについて正しい知識と認識をしていただくための活動を行い、また、診療放射線技師が適切な管理のもとで医療放射線を取り扱い、県民の皆様の健康に大いに貢献していることを知っていただくという目的もあります。



技師会のブースを紹介しますと、腹部超音波検査無料体験、骨密度検査無料体験、乳がん検診自己触診のすすめ、医療被ばく相談を行いました。また、診療放射線技師の仕事を紹介したパンフレットや乳がん検診啓蒙パンフレットを来場者に配布しました。そして、例年参加しているスタンプラリーにも参加しました。

参加役員は、中部地区会の皆さん、管理士部会、

乳腺画像部会、医療安全推進委員会、そして今年も東芝メディカルシステムズ株式会社、日立アロカメディカル株式会社に機器設置等でご協力をいただきました。今年は日本超音波医学会と日程が重なったことで超音波を担当する技師が足りず、超音波ブースが設置できなくなるかと危惧していましたが、中部地区会にご協力いただき、例年通り行うことができました。



パンフレット配り

さて、今年も会場となったのは、静岡市青葉シンボルロード。天気予報では、昼前から雨で次第に雨脚が強くなるとのこと。なんとか持てばいいなと思っていましたが、10時頃にはポツポツと降り始め、午後になると本格的な雨となりました。13時頃には早々に撤収するブースも出始めたため、本部より1時間早く終了するとのアナウンスがありました。



毎年大人気の骨密度検査無料体験ブース。
今年も多くの方に体験していただきました。

悪天候の影響もあり、会場全体の来場者は昨年より少ない印象でしたが、静岡県放射線技師会のブースは来場者が絶えず、1時間早めの終了となったにも関わらず昨年以上の来場者を記録するという盛況ぶりでした。



医療被ばく相談

医療被ばく相談では、「検査で頻回レントゲンを撮影するが大丈夫か？」等の医療被ばく不安が多かったのですが、中には「CTとMRIの違いは？」「検診の有効性について」「セシウムの体への蓄積について」等の質問もあり、医療や放射線被ばくについての関心が高いと感じました。



乳がんの検診『自己触診のすすめ』

「乳がん検診のすすめ」では、乳腺モデルを使って、実際のしこりを体験していただき、検診と自己触診の重要性をお伝えしました。

昨年もそうでしたが、今年も中部地区会長はじめ技師会の皆さんによる呼び込みや接遇が上手く、また、各ブースでも市民の方と楽しくコミュニケーションをとりながら検査や説明をしていたのが印象的でした。このようなボランティア経験は、

日常業務においても必要となる受診者とのコミュニケーションや接遇方法の良い勉強になると感じました。

最後に、静岡ふれあい広場に参加していただきました会員・賛助会員の皆様に心よりお礼申し上げます。

来年もよろしくお願いいたします！

ブースを訪れた延べ人数 601名

ー内訳ー

・腹部超音波検査無料体験	157名
・骨密度検査無料体験	256名
・乳がんの検診『自己触診のすすめ』	173名
・医療被ばく相談	15名
・啓蒙パンフレット配布	約100部

技師会会員30名（敬称略）

中部地区会

望月 浩正	大瀧 篤志
佐野 文香	河合 秀紀
滝井 剛	鈴木 邦幸
村田 昌也	石田眞貴廣
宿島 久志	大森加奈子
野寄ひろみ	杉山修一朗
渡邊 敏成	薬科 雅人

管理士部会

池谷 正治	根岸 賢哉
神田 直樹	清 広和
青島 満	澤元日出也
糟谷 信貴	鈴木 康太

乳腺画像部会

内田 千絵	河合 陽子
神谷 有希	平野 裕子

医療安全推進委員会

田沢 範康	鈴木 久士
-------	-------

中部副会長：八木 秀規

常任理事：市川 和秀

賛助会員

東芝メディカルシステムズ株式会社

日立アロカメディカル株式会社

広報理事 市川和秀

平成27年度 第1回業務拡大に伴う統一講習会 報告

平成27年9月19日(土)、20日(日)
中東遠総合医療センター

平成27年9月19日20日の2日間に渡り、中東遠総合医療センター3F大会議室において第1回業務拡大に伴う統一講習会を開催しました。

診療放射線技師法が2014年6月18日に一部改正が行われました。具体的にはCT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の針の抜針と止血、下部消化管検査の実施（ネラトチューブ挿入を含めて）、画像誘導放射線治療時、腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入と診療放射線技師の業務内容が拡大されました。以上の業務を行うための絶対条件として、医療の安全を担保することが求められています。そのため、日本診療放射線技師会が主催し各県で業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とした講習会を2日間にわたり実施しました。今回は静脈注射（針刺しを除く）講習会を既に受講している方を対象としました。受講生は34名でした。

講義はDVDを放映する形式で行いました。1日目は午後から開始をし、法改正は「診療放射線技師法に関する法的知識及びその責任範囲、医療倫理」、IGRTは「放射線治療における接遇、及び感染管理・医療安全対策」、「骨盤内臓器に関する解剖」、「骨盤内臓器がんに対するIGRT」を各講義50分行い、1日目は終了となりました。2日目は下部消化管検査を「患者の心理と接遇」、「肛門及び直腸を含む下部消化管に関する解剖」、「バリウム、水溶性造影剤の薬理と造影剤および空気の注入法」、「感染管理及び医療安全対策」を各講義50分行いました。

午後からシミュレーターを用いた下部消化管、IGRT、BLSの実習に入りました。4名の実習指導者のもと、4つの班に分かれ各実習を行いました。下部消化管検査の実習では10分程度の実習手順DVDを見てから、講師からのデモンストレー

ションが行われました。その後、順次手順に沿って各人が実習を行いました。IGRTも同様の手順で実習が行われました。実習中はその都度、講師からのチェックが入りその場で指導を受け、シミュレーション通りに終えないので受講生にとっては刺激があり、みな緊張した面持ちで実習を受けていました。次にBLSの実習を行いました。BLSはほとんどの会員が既に講習を受けているので、スムーズに実習が進みました。最後に確認試験を行い終了となりました。

業務拡大に伴う行為を診療放射線技師が実施するか否かはそれぞれの施設の考え方によります。いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの講習会に参加する意義だと思います。この講習会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようにお願いしたいと思います。



生涯教育委員 曾我 隆正

デジタルマンモグラフィ装置「MicroDose SI」紹介

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

モデリティスペシャリスト 佐山 春香

はじめに

次世代の検出技術である「フォトンカウンティング」を始めとする様々な先進技術を搭載し、より低線量での検査を実現したデジタルマンモグラフィ装置「MicroDose SI」を紹介する。

先進技術による検査の低線量化

MicroDose SI では高いX線検出効率を誇る、次世代検出技術「フォトンカウンティング」を搭載している。フォトンカウンティングではX線から直接デジタル信号を取り出す。そのため変換工程を必要とせず、画像形成の過程で発生するノイズを抑制できる検出技術である。(図1)

また従来の移動型グリッドのもつ散乱線除去と撮影線量増大というジレンマを解消する、新しい散乱線除去技術「マルチスリットスキャン」を搭載しスキャン

方式での撮影を行っている。被写体を前後2つのコリメータで挟みスキャン撮影を行うことで、散乱線のみを除去し、直接線には影響を与えない散乱線除去機構となっている。スキャン方式の撮影によりデッドピクセルの抑制などアーチファクトの軽減も実現している。

これらの先進技術により、従来のデジタルシステムと比較して平均40%の線量低減と50 μ mの高精細画像の両立を達成している。

シングルショットスペクトラルイメージングによる乳腺量定量評価

MicroDose SI ではX線光子のエネルギー情報を使った「スペクトラルイメージング」をマンモグラフィで初めて実現している。このスペクトラルイメージングを用いた最初のアプリケーションツールが「Breast Density Measurement」である。撮影時に収集したスペクトラル情報から乳腺体積や乳腺密度を自動算出しDICOM情報として出力する。乳腺濃度はマンモグラフィの感度と乳がん発症リスクを示す、臨床上重要な意味をもつ項目として読影時に評価すべき事項の1つとなっている。近年、北米を中心として乳腺濃度通知に関する法制度の制定が進んでいる。乳腺濃度の通知を通して、受診者個人に自身の乳腺濃度および乳がんの発症リスクを認識してもらい、超音波やMRIなどの付加検査の必要性を伝えている。このように乳腺濃度に高い関心が集まる中で、Breast Density Measurement は客観的な乳腺量評価を求める医療従事者の声に応えたソフトウェアである。

終わりに

MicroDose SI は、被ばくに対して厳しい水準が求められている中、受診者に安心感を与える低被ばくのマンモグラフィ検査を提供する。さらに客観的な乳腺量測定という付加情報を提供することで受診者一人一人の胸の状態に合ったパーソナルケアを提案する。

このような先進技術が多くの臨床現場に取り入れられ、女性の健やかな生活に貢献することを心から願う。

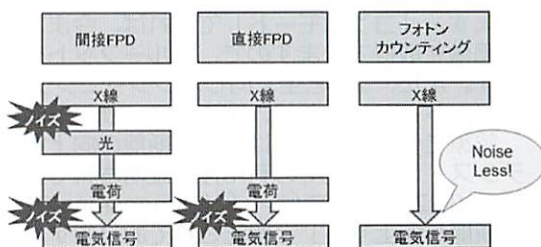


図1 各検出器の変換工程

Selenia Dimensionsのご紹介 ～トモシンセシスの最新情報～

株式会社 日立メディコ



トモシンセシスを臨床で使用するのは、診療・検診など、どのような場面でしょうか。日立メディコがご提案するSelenia Dimensions（以下、Dimensions）はそのどちらでも使用が可能です。

検診で使用する場合、「スループットの良い検査」という事が求められます。Dimensionsはその課題を「短時間スキャン」と「コンボモード」（図1）で解決します。Dimensionsのトモシンセシスのスキャン時間は約3.8秒と非常に短く、被検者への撮影時の負担を軽減する事はもちろんですが、呼吸や体動によるアーチファクトの低減にも、とても有効です。更に、「コンボモード」というトモシンセシスと2Dを同一圧迫下で、なおかつ10秒という短時間で撮影するモードを備えています。「コンボモード」であれば、今までと同じポジショニング回数で、トモシンセシスと2Dの画像を取得できますので、スループットを落とさず、トモシンセシスを臨床に用いることが可能です。また、2Dと全く同じポジショニングのトモシンセシス画像を医師に提供出来るという点もメリットとなっており、実際のユーザー医師からも高い評価を頂いております。

診療で使用する場合は、「診断能の向上」が最も必要な要素です。Dimensionsは「豊富なエビデンス」により、その有用性が証明されています。具体的には、FDAにおけるPMA承認があります。（図2）こちらでは、「（Dimensionsの）2D+トモシンセシスで読影すると2D単独読影より診断能が向上する」と明記されております。また、それを裏付けるように世界中で100以上の論文が発表されています。2013年Radiologyで発表された「Oslo Study」では14,000件以上のデータを基に、2D単独読影とトモシンセシス併用読影における、がんの発見率及び偽陽性率の変化を比較しています。結果として、トモシンセシス併用読影の場合は、がんの発見率が向上し、偽陽性率が低減しています。尚、このがんの発見率の向上はBI-RADSの乳腺構成全てにおいて、認められています。また、2014年JAMAで発表された「米国のマルチセンタースタディ」では45万件以上のデータを基に、2D単独読影とトモシンセシス併用読影でのがん発見率と要精査率を比較していますが、こちらでも、がんの発見率の向上、要精査率の低減が示されています。これらの論文の全てのデータはDimensionsで撮影されたものです。この様に、Dimensionsのトモシンセシスは、診断能の向上を裏付けるエビデンスが十分ですので、安心してご導入いただけます。

更に当社はトモシンセシスの一歩先の技術として、トモシンセシス画像から合成2Dを生成するソフト「C-View」やトモシンセシスガイド下でバイオプシーが出来る「トモバイオプシー」を実現しております。「C-View」は被ばく量の低減や読影時間の短縮が期待されております。また、トモバイオプシーは、従来のステレオペア撮影に代わり、トモシンセシスの任意のスライス画像からターゲットとなる1点を選択頂くだけで、X,Y,Z軸の座標計算が完了するため、従来の検査時間を半分に短縮出来るとして、既に非常に高い評価を得ています。

Dimensionsの詳しいご説明をご希望の場合は、是非営業担当者へご連絡ください。



	Selenia Dimensions
承認年月	2011年2月
認可内容	・2D画像のセット（CC+MLO） または ・2D画像+3D画像のセット
評価	2Dに3Dを追加することで、感度と特異度が向上する。
ROC解析	2Dに3Dを追加することで、診断精度が向上する。
FDAコメント	2D+3Dは2Dのみより “Superior”（優れている）

図2 FDAにおけるPMA承認内容概要

富士フイルムマンモグラフィシステム「AMULET Innovality」について

富士フイルム㈱ メディカル事業部 村本綾子

異なる角度から被写体の画像を複数撮影し、その画像を再構成して被写体内の断層画像を生成する「トモシンセシス機能」。マンモグラフィ分野においては、腫瘍などの病変と乳腺などの構造が重なって見えることで、発見が難しかった病変を観察しやすくなるなど、診断性能の向上が期待されている。

そこで、トモシンセシス対応の新しい Hexagonal Close Pattern (HCP) 構造 Flat Panel Detector (FPD) を搭載したマンモグラフィシステム「AMULET Innovality」について紹介する。

① トモシンセシス撮影に搭載された 2 つの撮影モードを搭載し用途に応じた分解能を実現

AMULET Innovality におけるトモシンセシス撮影には、撮影時間の短縮と低被爆を目指した ST-Mode と、高画質・高分解能の HR-Mode という 2 種類の撮影モードがある。マンモグラフィ検査において、病変や組織の特徴を明瞭に描出すること、そしてその位置を明確に特定することは、検出性能の向上や診断の確信度向上につながるだけでなく、超音波やバイオプシー生検などの検査に対して事前情報を付与できるため、重要である。トモシンセシス撮影でこれらを達成するためには、X 線管の撮影角度を大きくする必要があるが、撮影角度を大きくすれば大きくするほど X 線管の移動距離が長くなり、撮影時間も長くなり、また X 線が乳房に対して斜めに入るために画像が削られてしまうという問題が生じる。

そのため HR-Mode での撮影は、上記の問題をクリアしながら乳房の高さ方向の分解能(深さ分解能)を最大限高めた、撮影角度 $\pm 20^\circ$ 、ST-Mode では、高速撮影と深さ分解能を両立する $\pm 7.5^\circ$ に設計した。

一方、画像面における分解能については、石灰化などの微小構造物の存在、計上視認性および粒状感と被ばくなどとの兼ね合いから、HR-Mode で $100\mu\text{m}$ 、ST-Mode で $150\mu\text{m}$ で設計している。

② 低線量撮影を実現

AMULET Innovality では 1 回のトモシンセシス撮影で 15 枚の画像を取得するが、15 枚撮影するうちの 1 枚分の撮影線量は、従来のマンモグラフィ撮影の約 7% という低さを実現した。更に、新規開発した高感度な HCP 構造の FPD を搭載しているため、このような低線量でも高画質を達成している。この FPD の搭載により、平均的な乳房に対し、ST-Mode で 1mGy という低線量撮影を実現した。また、HR-Mode では撮影角度が大きいため実効的な乳房の厚みが厚くなり X 線の減衰が大きくなる。HR-Mode 特有の奥行き分解能と十分な画質性能を両立するため平均的な乳房に対し 2mGy の撮影線量を設定し、精密検査で必要とされる最高画質を実現した。

③ マンモグラフィの撮影時間を短縮

マンモグラフィの撮影時間が長引くと、乳房の圧迫時間増加による被検者の負担や被検者の体動による画像ボケなどを引き起こすため、撮影時間を最小に抑えることが特に重要である。AMULET Innovality は、短時間の高出力 X 線照射、画像読み出し時間、X 線管の動作スピードなど安全なシステム設計を最適化することにより、両モードの撮影時間を短縮した。また、トモシンセシスの撮影終了から画像表示までの時間も短縮することで、スムーズなポジショニングの良否確認、ワークフローの向上を実現した。これらを可能にする GPU の再構成処理および並列画像処理を次に紹介する。

④ 2 つのトモシンセシス画像を選択可能

従来のマンモグラフィ撮影に近い画像と、CT に近い画像の 2 つのトモシンセシス画像を新規に開発し、各々 Pattern1、Pattern2 として簡単に選択できる機能を搭載した。Pattern1 は、これまでのマンモグラフィ検査と同様の読影を可能にするため相対的に低周波を強調して従来のマンモグラフィ画像に近い自然な濃淡情報を持つトモシンセシス画像である。「腫瘍などの病変構造と乳腺構造の区別が明確」「腫瘍と周辺構造との識別がしやすい」「乳房の厚みがわかるため立体構造をイメージしやすい」などの声を臨床の現場からいただいている。Pattern2 は、相対的に高周波を強調することで石灰化やスピキュラなどの微細および線構造をより強調したトモシンセシス画像である。このように、画像処理によって読影方法に応じたトモシンセシス画像を切り替えて表示できる。

⑤ 2D マンモグラフィを作成する「S-View」機能

2 つのトモシンセシス画像以外にも、再構成画像を仮想的な焦点から再構成することで擬似的な投影画像(2D マンモグラフィ)を作成する機能 S-View を搭載している。通常、再構成画像は 1mm 程度のスライス間隔の画像を動画形式で観察するため、微小な石灰化の分布がわかりにくいことがあるが、その点、S-View は再構成画像の情報を 1 枚の画像に投影するので、微小石灰化などの分布状況を把握するのに有効である。S-View 画像とトモシンセシスの断層画像を画面上で切り替えながら見ることによって乳房全体がより観察しやすくなる。

今回富士フイルムで新たに開発した AMULET Innovality の特徴及びその性能の一端について紹介した。今後も医療の質の向上に貢献できるような新たな技術に挑戦していく所存であり、先生方の忌憚のないご意見、ご要望を頂ければ幸いです。

GE プレストトモシンセシス “Seno Claire (セノクレア)”

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 船木 新壽

■はじめに

欧米人に比べてアジア・日本人に多いと言われているデンスブレストをはじめ、従来の 2D マンモグラフィでは病変との判別がしづらいという課題がありました。GE のデジタルブレストトモシンセシス（以下、DBT）「SenoClaire」は、これらの課題を改善することが期待される新技術です。診断性能と被ばく線量、ワークフローのバランスを考慮し、極力負担を増やすことなく高精度な検査を実現します。

■SenoClaire の特長

GE の DBT 「SenoClaire」は、「Senographe Essential」のオプションとして開発されました。（図 1）

いくつかの臨床評価のうち、米国マサチューセッツ総合病院における検証では、同一受診者における 2D と GE の DBT 画像を比較した場合、従来の DBT で苦手とされていた良悪性鑑別を要する石灰化の描出能でさえも、2D と比較して GE の DBT の方がより明瞭に示すという結果が出ています。

また、別の検証においては、3000 人を 2D と GE トモシンセシスで比較した結果、偽陽性率が 7.8%から 4.6%に減少しました。読影時間については従来の単純マンモグラフィと同等であると報告されています。

さらに、従来のマンモグラフィと同等の線量で、診断に必要なより精度の高い情報を適切な検査時間で取得でき、受診者の負担が少ない「やさしい」検査の提供を実現しています。この結果を見ると、SenoClaire は精密検査に加えスクリーニングにも実用できることが示唆されます。

■ “SenoClaire” の性能を支えるテクノロジー

高画質と低被ばくと優れたワークフローを両立した真の DBT を支える、“SenoClaire”独自のテクノロジーとして、以下の要素などがあります。

- 逐次近似法 AiSR-DBT を採用した画像再構成技術
- Step&Shoot を採用したガントリーコントロール
- 高画質/被ばく/撮影時間の適切なバランスを考慮した、±12.5 度 & 9° プロジェクションの撮影方法
- 低線量における高 DQE を実現した CsI 間接変換フラットパネル
- Mo・Rh 陽極/フィルターを有した世界最軽量のデュアルターゲット X 線管

■まとめ

この新しい検査法である DBT が検診や精検に普及し、乳がん死亡撲滅が一層進むよう、皆様と共にさらに技術開発に努めてまいります。



図 1.

“SenoClaire”を搭載した
Senographe Essential

メッセージボード

平成27年11月現在

東部地区

◎経過報告

H27/07/11 (土)

東部地区ボウリング大会

「ジョイランドボウル原」

37名参加

〈成績〉

優勝：和田 健 聖隷沼津病院

2位：佐野 萌子 富士宮市立病院

3位：小川 博史 富士脳障害研究所附属病院



H27/09/16 (水)

第3回幹事会

「沼津市立病院」

出席者11名

- ① 静岡県放射線技師会報告事項
- ② ボウリング大会の収支報告、反省
- ③ 東部地区ふれあい広場について
- ④ 第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナーについて
- ⑤ 懇親会について
- ⑥ 技師長等会議について

H27/09/8 (火)

第2号地区だよりの発行

H27/10/22 (木)

第4回幹事会

「沼津市立病院」

◎行事予定

H27/12月 中旬

第3号地区だよりの発行

H28/1/30 (土)

第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

(会場・プラサヴェルデ 会議室)

新年会

H28/2/10 (水)

第6回幹事会

「沼津市立病院」

H28/2月 中旬

第4号地区だよりの発行

H28/3/5 (土)

東部地区会通常総会「沼津市立病院 講堂」

中部地区

◎経過報告

H27/9/3

第2回幹事会(静岡市立清水病院)

1. 地区会長挨拶
2. 県技師会理事会報告
3. 協議事項
 - ・第1回放射線セミナー及び第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会について
 - ・静岡ふれあい広場について
 - ・レクレーションについて
 - ・地区会ニュース秋号発行について
 - ・平成27年度中部地区会総会及び第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会について
 - ・退会者承認について
 - ・その他

H27/9/6 ふれあい広場 参加



H27/9/26

平成27年度 第1回放射線セミナー及び胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

第1回放射線セミナー MRIの最新情報 Part1
「フィリップス最新MRI Ingenia Update 2015」

フィリップスエレクトロニクスジャパン
MRモデリティスペシャリスト

平尾 彰浩 先生

「GEヘルスケア MR最新技術のご紹介」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社
MR営業推進部 製品企画

清水 俊博 先生

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会
「ピロリ菌感染を考慮した胃X線検査 Part2」

静岡赤十字病院

健診部長・経鼻内視鏡センター長

川田 和昭 先生

◎行事予定

H27/10/31

レクリエーション: ボーリング大会・懇親会

H27/11月上旬

地区会News 発行予定

H28/2/4

第3回 幹事会 (静岡市立清水病院)

H28/3/5

平成27年度中部地区会総会

第2回放射線セミナー

第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

西部地区

◎経過報告

○7月21日(火)

編集委員会

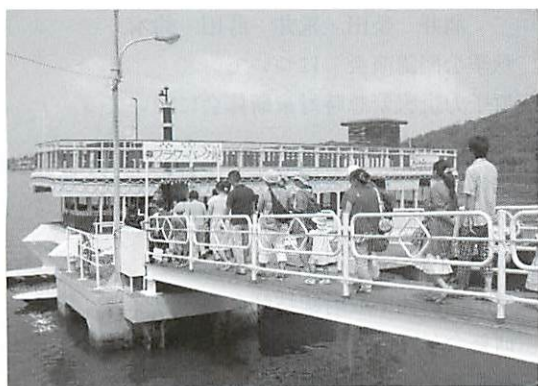
西部TIPS第1号を発行

○8月9日(日)

レクリエーション

「浜名湖遊覧船で行く、“ランチバイキング”」

「浜名湖+リステル浜名湖」 参加者81名



◎行事予定

○レクリエーション

10月23日(金)

ボウリング大会

[浜松毎日ボウル]

○勉強会

11月7日(土)

平成27年度第2回静岡県放射線技師西部地区会勉強会

[浜松商工会議所 10階会議室B+C]

プログラム(一部未定)

第1回胃がん検診X線従事者講習会

「胃透視の読影補助 読影レポートの書き方、用語の使い方」

○社会活動

11月21日(土)・22日(日)

メデイメッセ2015

[アクトシティ浜松 展示イベントホール]

○編集

西部TIPS発行(3回/年) 第2号を11月に配信予定

○勉強会

3月12日(土)

平成27年度静岡県放射線技師西部地区会通常総会
平成27年度第3回静岡県放射線技師西部地区会勉強会

[浜松商工会議所 10階会議室B+C]

プログラム(未定)

本 会 の 歩 み

(平成27年8月1日～平成27年11月30日)

H27/7/11

第26回乳腺部会(中東遠医療センター)

特別講演: トモシンセシスの使用経験

参加者: 会員、26名 非会員、18名

H27/8/20

第9回常任理事会

【協議事項】

①原子力災害時の医療体制の整備について

②統一講習会についての件

③静岡ふれあい広場についての件

④アール祭及び叙勲祝賀会の件

和田 望月 八木 山本 市川 赤池

酒井 柴田 荒井 鈴木 蒔田

H27/8/29

第2回理事会

【協議事項】

①原子力害時の医療体制整備についての件

②統一講習会についての件

③静岡ふれあい広場についての件

④平成27年度アール祭及び叙勲祝賀会について
の件

和田 望月 八木 市川 赤池 鈴木

酒井 柴田 荒井 田中 望月(浩)

佐々木 竹田 窪野 片山 佐々木

近藤 窪野

H27/9/6

静岡ふれあい広場

静岡市青葉シンボルロード

延べ参加人数 : 601名

腹部超音波検査無料体験 : 157名

骨密度検査無料体験 : 256名

乳がんの検診相談 : 173名

医療被曝相談 : 8名

パンフレット配布部数 : 約100部

H27/9/10

第10回常任理事会

天候の都合でメール会議に変更

H27/9/13 (H)

第6回可美公園まつり(健康ブース)

天候不良のため中止

H27/9/26

第1回(中部)放射線セミナー及び

胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

静岡赤十字病院 別館4階第1・2会議室

参加者: 会員46名 非会員2名 賛助会員4名
52名

H27/10/8

第12回常任理事会 技師会事務所

和田 望月 八木 山本 市川 赤池

酒井 柴田 荒井 蒔田 鈴木

秋季公開講演会 について

原子力災害緊急時対策研修会について

ポスター決定

平成27年12月から平成28年3月までの会議
予定について

H27/10/17

第65回静岡県放射線技師会超音波部会

研修会(放射線技師会事務所)

最新超音波診断装置の動向

参加者: 会員19名 非会員7名

H27/10/17

静岡県放射線技師会アンギオ部会研修会

会場: 静岡県男女共同参画センター

急性虚血肢治療の最前線～血管外科の立場

シャントPTAについて

クロッサーを用いたEVTについて

CO₂造影について

非イオン性等浸透圧造影剤の有用性について

参加者: 20名

H27/10/22

第13回常任理事会(メール会議)

H27/10/24

静岡県MRI技術研究会

静岡県教育会館 4階B会議室

MRI装置の最新情報

MRI装置の安全性について

参加者: 会員43名 非会員12名 賛助会員9名

H27/10/27

編集委員会

H27/10/31

秋季公開講演会

会場：静岡県男女共同参画センター

5階 第3会議室

『乳がんは早く見つけければ怖くない』

講演1

『静岡県における乳がん検診の現状』

静岡県健康福祉部医療健康局疾病対策課

がん対策班 坂本久子先生

講演2

『患者会からのメッセージ』

Breast Cancer Network Japan

あけぼの静岡 代表 星野希代絵先生

講演3

『12人に1人がかかる乳がん～自分自身を守るために必要な知識～』

社会福祉法人聖隷福祉事業団

聖隷サポートセンターShizuoka 所長

鈴木美香先生

参加者：会員10名 一般23名 報道5名

講師3名 合計41名

H27/10/31

第1回(東部)放射線セミナー及び

胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

会場：プラザヴェルデ 401会議室

参加者：53名 賛助会員1名

H27/11/7～8

第8回中部放射線医療技術学術大会

(福井県)

H27/11/10

編集委員会

H27/11/12

第14回常任理事会(技師会事務所)

H27/11/21～23

第31回日本放射線技師会学術大会

(京都)

H27/11/27

ジャーナル Vol 25 No2 発行

H27/11/28

原子力緊急時災害対策研修会

会 員 動 静 (敬称略)

(平成27年8月1日～平成27年10月20日)

【入 会】 9名

東部：田中 理恵 聖隷沼津病院

(県のみ会員 → 日本放射線技師会)

酒井 奏美

国際医療福祉大学熱海病院

望月 直人

国際医療福祉大学熱海病院

中部：加藤 勇輔

藤枝平成記念病院

五十嵐 格

藤枝平成記念病院

山下 敏幸

静岡済生会病院

西部：桑原 権太

浜松北病院

和田由美子

聖隷予防検診センター

鈴木 恵理

JA静岡厚生連遠州病院

【再入会】 2名

東部：廣澤 賢一

静岡県立がんセンター

中部：河合 秀紀

静岡市立清水病院

【転 入】 3名

東部：伊勢田 環

医療法人社団駿栄会

(神奈川県から) 御殿場 石川病院

西部：小木曾弘泰

千葉県から

聖隷予防検診センター

加藤 浩千

神奈川県から

聖隷三方原病院

【転 出】 1名

中部：鈴木 吉信

愛知県へ

【退 会】 1名

西部：高木 潤

(自宅)

【産 休】 1名

西部：鈴木 恵

聖隷健康診断センター

【勤務移動】 6名

東部：背戸 好廣

聖隷富士病院 ←

聖隷福祉事業団法人本部事務局

長谷川晋也 聖隷浜松病院 ←
豊橋医療センター
細野 翔平 医療法人親和会西島病院
← 自宅
中部：高山 雄一 聖隷サポートセンター
Shizuoka ←
聖隷予防健診センター
(浜松)
西部：金子 千尋 藤野整形外科病院 ←
マツオ脳神経クリニック
長谷川晋也 聖隷浜松病院 ←
豊橋医療センター

【資格喪失】 0名

会員総数	843
東部	270
中部	254
西部	318
(平成27年10月20日現在)	

9/2 神奈川県診療放射線技師会会誌
第45号2015-3 Vol.19 No.1
9/7 会報 2015 9月号
北海道放射線技師会
9/7 東京放射線 2015年 9月号
Vol.62 No.731
9/16 岐阜県診療放射線技師会雑誌
第84巻 (通号 120号)
9/29 放射野 NO.117 2015年 秋号
長崎県診療放射線技師会会誌
9/30 かながわ放射線だより 258
VOL.68 No.3 Sep 2015
10/5 東京放射線 2015年10月号
Vol.62 No.732
10/6 宮崎県放射線技師会会誌 2015.9
Vol.98
10/9 放射線 やまぐち 2015 Vol.257
10/19 放射線高知 平成25年度・26年度版
10/19 埼玉放射線 No.4 2015

【電 報】

西部：星名 泰幸 御父堂様弔電
佐々木幹晴 御父堂様弔電
立石 甲吉 御母堂様弔電



7/30 神奈川放射線だより 257
Vol.68 NO.2 Jul 2015
8/5 兵庫県放射線技師会会誌 8
2015.8.1 Vol.75-1
8/7 MART 会報 84 2015.7 VOL.118
宮城県放射線技師会
8/10 創立60周年記念誌 2015年
高知県診療放射線技師会
8/24 大分県放射線 第100号
記念特集号

平成27年度 第2回 理事会 議事録

1. 開催日時 平成27年 8 月29日（土）
14時～16時20分
2. 場 所 静岡県放射線技師会事務所
静岡市葵区本通 1 丁目 3 番地 5
フェリス本通り202号
3. 理 事 15名
監 事 2名
4. 出席者
和田 健、望月 茂、山本英雄、八木秀視、
酒井公敏、鈴木健一郎、赤池正久、柴田純一、
荒井 準、市川和秀、田中 章、望月浩正、
片山善博、佐々木英治、竹田 守、
窪野久行（監事）、近藤 仁（監事） 敬称略
欠 席 者
蒔田鎮靖

（1）会長あいさつ

今年は例年にない猛暑で熱中症等、皆さまにおかれましては体調管理にお気をつけ下さい。平成27年度会務もあと一月を残すところで前半が終わり後半に入ります。9月以降、静岡ふれあい広場、東部、西部で同内容のふれあい広場、また9月6日にアクティで日本超音波医学会第36回中部地方会学術集会在行われ、11月7日、8日に福井県（AOSSA）で第8回中部放射線医療技術学術大会（CCRT）、11月21日～23日に京都（国立京都国際会館）で第31回日本診療放射線学術大会があるので、多くの方に参加して頂きたい。

定款第34条第1項により、和田会長が議長に就任いたしました。

定款第36条第4項により、議事録作成人 鈴木常任理事が指名されました。

（2）報告事項

① 会長報告

和田会長

I. 厚生労働省より医療法第6条11は都道府県保健所を設置する市及び特別区（都道府県等は第6条の9に規定する措置を講ずる為医療安全支援センターを設けるように努めなければならない。）第6条の9とは都道府県等は医療の安全に関する情報の提供、研修の実施、意識の啓発、その他の医療の安全の確保に関する必要な措置を講ずるように努めなければならない。また、医療安全支援センターを設けて第6条の第2項に都道府県等は、医療安全支援センターを設けたときはその名称及び所在地を公示しなければならない。第2項の規定に基づき厚生労働大臣が定める団体を次のように定める。平成27年10月1日から適応する。医療事故調査制度における医療事故調査等支援団体に公益社団法人日本診療放射線技師会が職能団体の1つとして挙がっている。他に日本医療法人化協会、全国自治体病院協議会、日本医療機能評価機構、国立病院機構、労働者健康福祉機構、国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、国立国際医療研究センター、日本赤十字社、全国厚生農業組合連合会等がある。医療事故が発生した際に医療事故調査等において役割を果たしていくことが目的である。第4回静岡県放射線技師会総会でも平成27年5月8日における群馬県での胃検診の死亡事故について話しましたが胃検診において受診者が逆傾撮影時に転落転倒し、車体と起倒式透視台に挟まれ出血性ショックで最悪の事態となった。また、今回肩当て器具が装着されてなく事故の大きな要因とされている。同時期に週刊誌等が現状の胃バリウム検査を胃カメラと比べて無駄な検査と指摘、3週にわたり掲載され、検診業務に携わる技師、医師に大きな衝撃を与えた。JARTは技師が直接関与の重大な事故として情報収集をするとともに事故対策委員会を関連部署とともに合同で開催した。今後の対策として様々な

議論をし、実態調査を行うためアンケート調査を近日中に行う予定。各組織理事には地区会、幹事会等で検診業務における医療安全について啓発活動をして頂きたい。

Ⅱ. 6月19日に全国診療放射線技師養成校協議会が行われた。学生が一定の条件下で許容される臨床実習行為における厚労省の同席する検討会を設置したかどうか?と提起したところ検討会は不要であると言われ否決された。患者のポジショニングや学生同士の超音波装置を使用しての実習は撮影行為として医療行為とみなすとの厚生労働省技監からの発言があり、医師、歯科医師、看護師、薬剤師と同じように臨床実習在り方検討会の設置をJARTとして厚労省に働きかけてきたがこのような結果になってしまった。

Ⅲ. 日放技の小川副会長から4月1日から業務拡大に伴う統一講習会が各地で開催されている。静岡県(中東遠総合医療センター)でも9月19日、20日に開催予定(約23名程度)。保健所の立ち入り検査時に業務拡大に伴う統一講習会について何か指摘や聞かれた際はその内容を日放技に報告してほしい。また、日放技の小川副会長より日放技、各都道府県技師会から叙勲、褒章についての推薦をし、庶務官庁の規定で叙勲、褒章が内定し、受け賜った方(平成1年から平成27年まで)の氏名を報告してほしいとの要望があった。小池表彰審査委員長に対応して頂き、小川副会長に報告した。

Ⅳ. マイナンバー制度について平成28年度の1月から行われる。10月にマイナンバーの通知カードがくる。法人としてのマイナンバーを公益社団法人静岡県放射線技師会が持つことになる。各研修会等で講師の謝金を支払う際に支払調書を税務署(5万円以上)に提出するが平成28年度1月からは支払調書に講師のマイナンバーを記入しなくてはならなくなり、もし講師がマイナンバーを教

えたくない場合は、それを文書として残さなければならない。公益社団法人静岡県放射線技師会としてマイナンバー施行時の運用規定の作成等について税理士と話をしている。個人情報なので管理をしっかりと行っていく。

会長報告の中でご質問があればお受けいたします。

→ なし

②副会長報告

東部：望月副会長

委員会報告

情報管理委員会

ホームページ更新・訂正：40件、ホームページの仕様変更依頼：6件、求職求人掲載：3件

ホームページに技師法改正についてのバナーを作成し、通達文をPDFにしてリンクしました。

静岡県マンモグラフィ講習会用と技師会事務局用の技師会メールアドレスを新規に取得しました。技師会ホームページに予定カレンダー表示と事務所予約フォームを新規に作成する予定です。国立国会図書館よりインターネット資料収集保存事業として静岡県放射線技師会のホームページの中の資料を収集・保存・提供することを常任理事会で承認し、受諾しました。

医療安全推進委員会

9月6日行われる静岡ふれあい広場において被ばく相談を行う予定です。

生涯教育委員会

7月8日にフレッシュャーズセミナーを開催しました。参加者16名(新人15名)

9月19日、20日に業務拡大に伴う統一講習会を中東遠総合医療センターで開催予定、現時点で20名以上の参加予定者あり。

基礎講習(消化管撮影)12月13日か11月15日に行う開催予定 中東遠総合医療センター

災害対策委員会

タイベックスーツの購入をした。災害の訓練時に着用し、研修会等に再利用する予定です。

11月28日に平成27年度原子力災害緊急時対策研修会に行われる話し合いとして3会合同研修会を8月25日に行った。研修会のプログラム等、役割分担等を決めた。その企画申請書を申請し承認された。

市川理事

会告ができましたらホームページに掲載するので出来次第、私のところをお願いします。

荒井理事

日環研もお手伝いできることがあれば来年度参加したいと申し出あり。

中部：八木副会長

報告事項なし

西部：山本副会長

部会報告

超音波部会

「第64回超音波部会研修会」

【日 時】平成27年6月20日（土）14：10～

【場 所】静岡赤十字病院

【参加者】61名（会員30名、非会員31名）

【内 容】メーカー講演

「最新の超音波診断装置」

日立アロカメディカル株式会社

教育講演1

「甲状腺の超音波検査」

桜ヶ丘病院 齋藤 友紀 先生

教育講演2

「超音波診断装置の精度管理」

富士宮市立病院 玉田 宏一 先生

特別講演

「とことん胆膵領域のエコーを考えよう！

ーから学ぶ胆膵領域の超音波検査ー」

藤田保健衛生大学 刑部 恵介 先生

中部地区の超音波会の非会員参加が多くあり盛大に行われました。

「第65回超音波部会研修会」

【日 時】平成27年10月17日（土）15：00～

【場 所】（公社）静岡県放射線技師会 事務所

【内 容】メーカー講演

「最新の超音波診断装置」

症例発表会

乳腺画像部会

「第26回 乳腺画像部会」

【日 時】平成27年7月11日（土）14：00～

【場 所】中東遠総合医療センター

【参加者】44名（会員26名 非会員18名）

【内 容】メーカー講演

「MicroDoseSI技術紹介」

PHILIPSエレクトロニクスジャパン

「トモシンセシスについて 装置紹介」

GEヘルスケア・ジャパン

日立メディコ

シーメンス・ジャパン

富士フイルムメディカル

特別講演

『トモシンセシスの使用経験』

聖路加国際病院附属クリニック・

予防医療センター 秋山 忍 先生

各社 WSデモ

非会員の参加が18名と多く、今後会員になるように促します。

「第15回 静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会」

【日 時】平成27年12月19日（土）～20日（日）

【場 所】静岡県静岡がんセンター

「静岡県デジタルマンモグラフィ品質管理講習会」
【日 時】平成28年2月14日（日）
【場 所】中東遠総合医療センター

アンギオ部会

「第44回 アンギオ部会研修会」
【日 時】平成27年10月17日（土）14：00～
【場 所】静岡県男女共同参画センター あざれあ
【内 容】メーカー講演

「非イオン性等浸透圧造影剤 ビジパークの有
用性について」

第一三共(株) 佐々木 達 先生

会員講演

・「下肢EVT症例提示（CTO）」

聖隷浜松病院 松井 隆之会員

・「炭酸ガス造影剤を用いたEVT」

国際医療福祉大学附属病院 山内 紘作会員

会員講演に非会員の発表があり、非会員の人に
会員になってもらうか、ならない場合は別の会員
に発表してもらうように再度企画申請書を出して
もらう。

特別講演

「急性虚血肢治療の最前線～血管外科の立場から～」

名古屋大学医学部附属病院

血管外科 児玉 章朗 先生

MRI部会

「第3回 静岡県MRI技術研究会（MRI部会研修会）」
【日 時】平成27年10月24日（土）13：00～
【場 所】静岡県教育会館 4F B会議室
【内 容】情報提供

「MRI装置の最新情報について」

東芝メディカルシステムズ(株)

基礎講演

「MRI装置の安全性について」

浜松医療センター 有谷 航 会員

県立総合病院 大川 剛史 会員

技術講演① 「前立腺・膀胱のMRI撮像技術」
技術講演② 「婦人科骨盤MRI撮像技術」
教育講演 「婦人科領域の画像診断」

管理士部会

「第26回 放射線技師のためのセミナー」
【日 時】平成27年6月27日（土）13：30～
【場 所】静岡県放射線技師会事務所
【参加者】37名（非会員0名）

【内 容】最新技術講演

「最新装置と被ばく低減技術の紹介」

(株)島津製作所

GEヘルスケア・ジャパン(株)

会員発表

「教育訓練」

富士宮市立病院 酒井 洋和 会員

市立島田市民病院 畑 利浩 会員

浜松医療センター 中村 文俊 会員

特別講演

「日本の放射線診断における診断参考レベル
（DRLS）とその目的」

藤田保健衛生大学 医療科学部放射線学科

鈴木 昇一 先生

生涯教育委員会

「第5回 フレッシュヤーズセミナー」
【日 時】平成27年7月4日（土）11：30～
【場 所】静岡県放射線技師会事務所
【参加者】16名（新人15名）
【内 容】入会案内、ランチョンセミナー、エチ
ケット・マナー講座、医療安全講座、感染対策
講座、胸部・気管支解剖講座

第15回静岡県マンモグラフィ講習会（読影・撮
影技術）を今年度も静岡県放射線技師会が事務局
として事業を行う。日程は撮影技術講習会が12月
19日～2月20日、読影講習会が2月6日～2月7
日の予定。今年度は撮影技術講習会の更新講習は

行わない。また、申込期間は9月11日～11月7日とする。会場は静岡県立静岡がんセンターで行う。撮影技術講習会の受講定員が50名なのでなるべく多くの方に参加して頂き定員割れしないように各施設で働きかけをして頂きたい。今まで事前講習会を行い県より助成金を頂いていて、昨年からデジタルマンモグラフィ勉強会という形で行っていたが精中講に問い合わせたところ基本的には東京、名古屋、大阪等の大都市周囲でデジタルマンモグラフィ講習会を行っていたが今年度は静岡県でもデジタルマンモグラフィ講習会を行うこととなり静岡県放射線技師会と乳腺部会が中心となり事務局を行うこととなった。日程はデジタルマンモグラフィ読影講習会が2月13日、デジタルマンモグラフィ品質管理講習会が2月14日に行う予定。読影は医師、品質管理は技師で場所は中東遠総合医療センターで行う予定。こちらの事業に関しても県より補助金が出る。医師、技師共にデジタルマンモグラフィ講習会を受けていないとデジタルマンモグラフィの施設認定が取れないので受ける必要があると思われる。更新はないそうです。

京都の第31回日本診療放射線技師会学術大会の座長の要請が静岡県に2名きており、MRI、その他を静岡済生会総合病院の山崎敬之会員、一般撮影を磐田市立総合病院の天野宜委員会にお願いした。

2月に岐阜で第57回東海四県放射線技師学術大会の静岡県にシンポジスト、講演者、ランチョンセミナーの座長の要請があり、講演者として（下肢の立位荷重位撮影）聖隷三方原病院の大橋会員に依頼した。ランチョンセミナーの座長（骨密度であったが内容が変更する可能性あり）浜松医療センターの杉崎会員に依頼したがランチョンの内容により変更する可能性あり。シンポジウムの内容が超高齢化社会におけるCT、できればMRということで磐田市立総合病院の神谷会員にお願い

したところ聖隷浜松病院の望月会員が適任であると推薦されお願いした。

CCRTの演題募集が2週間程伸びましたが静岡県に役割分担等が来た際はご協力お願いします。

和田会長

副会長報告の中でご質問があればお受けいたします。

→ なし

③常任理事報告

総務：酒井理事

報告事項なし

総務・庶務：鈴木理事

報告事項なし

庶務一般：赤池理事

承認事項

新入会5名：田中理恵（東部）、加藤勇輔（中部）、五十嵐 拾（中部）、桑原権太（西部）、和田由美子（西部）

再入会1名：廣澤賢一（東部）

転入会1名：伊勢田 環（東部）

新入会5名、再入会1名、転入会1名について定款第3章第6条に基づき本理事会での採決をお願いします。

和田会長

採決に入ります。採決は挙手にて行います。

反対0名 保留0名 賛成15名

全会一致で承認された。

胃がん検診エックス線撮影従事者講習会の県委託事業ですが、見積もり及び計画書を提出してい

るが委託の契約の話が来ていない。9月に入りましたら再度連絡する予定です。9月26日には中部地区会の第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会が行われるが、今年も県の助成金が間に合わない大変なこととなるので催促を致します。また、業者を講師として1人だけということは県より認められないと指摘された。必ず業者以外の講演を入れるように通達があった。

庶務会員管理：柴田理事

日本放射線技師会より7月分(109名分)の送金データが届きました。

本会規定に基づく会費納入期限は9月30日までとなっていますので、未納の会員がいましたら期限内に納入して頂きますように引き続き呼びかけを宜しくお願い致します。

会計：荒井理事

7月までの主な収入は会費収入3,291,000円、賛助会員が24社750,000円、学術大会費189,000円、県の胃がん委託事業費(昨年度)591,000円、主な支出は5部会それぞれ80,000円で400,000円、印刷費(総会の資料、はがき、抄録、ジャーナル等)として710,640円、表彰者の記念品として132,356円であった。

編集：蒔田理事(欠席)

報告事項なし

広報：市川理事

- ・5月14日に学術大会公開講演会について県庁記者クラブに報道依頼
- ・5月29日に学術大会公開講演会のお知らせを東京新聞東部版で掲載
- ・6月6日に学術大会と総会の新聞記事が6月6日の静岡新聞に掲載された。また公開講演会に出席された一般の方よりお礼の手紙を頂きました。

第36回静岡ふれあい広場が9月6日に青葉シンボルロードで開催されます。

- ・8月27日に第36回静岡ふれあい広場について県庁記者クラブに報道依頼
- ・10月31日に秋季公開講演会をあざれあの5階第3会議室で行う予定、3演題を予定している。

1演題目は静岡県健康福祉部医療健康局疾病対策課 がん対策班より「静岡県における乳がん検診の現状」、2演題目はあけぼの会静岡代表 星野希代絵様より「患者会からのメッセージ」、3演題目は社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷健康サポートセンターShizuoka所長 鈴木美香先生より「12人に1人がかかる乳がん～自分自身を守るために必要な知識～」になります。静岡県、静岡市、あけぼの会静岡、静岡新聞社、静岡放送の後援を頂いた。チラシを公共機関に置いてもらい、そうして1300部印刷し、県に500部、市に250部、あざれあに30部、市に関しては大きなポスターも掲示してくれるとのことで急きょA2判のポスターを10部作成し、市役所に置いてきました。静岡ふれあい広場の方でもチラシの配布予定。また、あけぼの会静岡創立20周年記念大会が9月12日にあざれあで「あきらめない!乳がん治療」開催予定で静岡県放射線技師会として後援をしました。(常任理事会で承認)ホームページにも掲載しました。370席あり入場証が必要で残り9枚あり。興味があり参加希望の方は市川理事までご連絡をお願いします。

④ 地区選出理事報告

東部：田中理事

東部地区会報告

事業報告

- 平成27年4月23日(木)第1回幹事会「沼津市立病院 会議室」(出席者14名)
- 平成27年5月28日(木)第2回幹事会「沼津市立病院 会議室」(出席者13名)
- 平成26年6月3日 地区だよりVol.1発行

○平成27年7月11日（土） 東部地区ボーリング大会（ジョイランドボウル原にて開催）
参加者37名（会員の家族含む）

事業予定

○平成27年9月17日（木） 第3回 幹事会「沼津市立病院」
○平成27年9月中旬 地区だよりVol.2 発行予定
○平成27年10月22日（木） 第4回 幹事会「沼津市立病院」
○平成27年10月31日（土） 東部地区第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会 第1回放射線セミナー（プラサヴェルデ 401会議室）東部地区懇親会
○平成27年11月14日（土） 東部地区ふれあい広場（市民公開講座 沼津市立病院 正面玄関前フロア）
○平成27年11月26日（木） 第5回 幹事会「沼津市立病院」
○平成27年12月中旬 地区だよりVol.3 発行予定

中部：望月理事

〈経過報告〉

平成27年4月23日 第1回幹事会
（静岡市立清水病院）出席者 11名

1. 地区会長 挨拶
2. 県技師会理事会報告
3. 連絡網の整備・改定について
4. 幹事の役割分担について
5. 今年度の事業計画について
6. 地区会ニュースの発行について
7. その他

平成27年6月下旬 地区会News 夏号 発行

〈行事予定〉

平成27年9月3日（木） 第2回幹事会
（静岡市立清水病院）

平成27年9月6日（日） 第36回静岡ふれあい広場
〔青葉シンボルロード〕

平成27年9月26日（土） 第1回胃がん検診従事者講習会・第1回放射線セミナー

平成27年10月31日（土） レクリエーション：
ボーリング大会・懇親会

平成27年11月中旬 地区会News 秋号 発行

平成28年3月5日（土） 第2回胃がん検診従事者講習会・第2回放射線セミナー

平成27年度 中部地区総会

西部：片山理事

◎経過報告

○6月6日（土）

平成27年度第1回静岡県放射線技師西部地区会勉強会

〔浜松商工会議所 10階会議室B+C〕参加者50名

第1回 西部地区会勉強会

『MRI造影剤 ガドピスト静注1.0M 製品説明』

バイエル薬品(株)R&I事業部 東海営業所

高橋秀剛 先生

第1回 放射線セミナー

『認定・専門資格等取得について～血管撮影・IVR専門診療放射線技師の役割を中心に～』

昭和大学大学院 保健医療学研究科

診療放射線領域 教授 加藤京一 先生

第2回 地区会勉強会

『必ず知っておきたい胸部単純写真読影のポイント』

国立病院機構 三重中央医療センター

放射線科医長 奥田康之 先生

○レクリエーション

8月9日（日）「浜名湖遊覧船で行く、“ランチバイキング”」

◎行事予定

○社会活動

9月13日（日） 第6回可美公園まつり（健康ブース）に参加

○勉強会

11月7日（土） 平成27年度第2回静岡県放射線技師西部地区会勉強会

[浜松商工会議所 10階会議室B+C]

プログラム（未定）

第1回胃がん検診従事者講習会

○編集

西部TIPS発行（3回/年）第1号を7月に配信

先日、協和医科の方がきて11月21日、22日にメディメッセージ2015を開催しますのでよろしくお願ひしますと挨拶があり、西部地区会として協力していきます。

⑤ 常設委員会理事報告

学術：竹田理事

「第20回静岡県放射線技師学術大会」開催についての企画報告書が原案通りに許可された。

企画調査：佐々木理事

8月25日（火）3会合同会議終了後に企画調査委員会を開催した。平成28年3月19日（土）に行う平成27年度静岡県技師会研修会について話し合いをした。昨年に引き続き今年度も読影補助業務というテーマで内容の検討を行ったが具体的に決まらなく次回理事会までに内容の方を提案する予定。今後の活動の流れを確認した。次回も11月の3会合同会議後に企画調査委員会を開催する予定。

⑥ 監事報告

窪野監事

・特にありません

近藤監事

・特にありません

石川事務員：報告事項なし（15：07）

（3）協議事項（15：20）

和田会長

竹田学術理事より平成27年度新春公開講演会についての第1回学術委員会の議事録の中で公開講演会と教育講演会と大きく2つに分け公開講演会では第1候補が救急外来を受診すべきタイミングについて、第2候補が最新の放射線関連検査でわかること、第3候補が健康体操について等であった。教育講演の方は第1候補が技師法改正及び業務拡大に伴う講習会、第2候補が個人情報保護、第3候補が手術支援ナビゲーションについて等が挙がった。新春公開講演会の対象は中部地区の住民であり内容によっては余り参加が見込めないのではないかと例年参加数が非常に少ない。多くて10名、少ない時は1、2名の時もある。以前、静岡県放射線技師会の立ち入り検査の際に県の担当官より関連のある医療団体等に声かけをしたりすればもう少し参加者が増えるのではないかと指摘された。県民の皆さんが患者としてぜひ聞いてみたいテーマにしなければならない。10月16日に第2回学術委員会にもう一度内容を再考して頂きたい。それを常任理事会で承認し、12月の理事会で承認するようにしたい。

竹田学術理事

正式ではないが中東遠総合医療センターの救命救急医に公開講演の声かけをしており、若い世代の人たちは救命救急に興味があり、ぜひ講演を聞きたいと言う意見が多くあり公開講演に関してはこの内容「救急外来を受診すべき症状～こんな時は急いで救急外来へ～」でいきたい。教育講演に関しては多くの県民、放射線技師が参加するような内容を第2回学術委員会で再度検討します。

①原子力災害時の医療体制の整備についての件
望月副会長

静岡県健康福祉部医療健康局地域医療課より新たな被ばく医療体制の各地域における医療機関等の協力依頼を受けた。国の原子力災害対策指針が今月に改定することとなった。県としても原子力災害医療体制の見直しを行うこととなった。現在の原子力災害医療体制は浜岡原子力発電所の近隣の医療機関が初期被ばく医療機関として指定されている。(市立御前崎総合病院、榛原総合病院、菊川市立総合病院等)二次被ばく医療機関として静岡県立総合病院、浜松医科大学医学部付属病院、三次被ばく医療機関が放射線医学総合研究所になっている。今後は原子力災害医療協力機関として静岡県放射線技師会に協力団体として加わってほしいと県より依頼があった。具体的に何を行うのかと言うと、被災者に対する放射性物質による汚染の測定、避難退域時検査実施のための検査チームの派遣等を行う。常任理事会では参加していく方針で承認を得ている。今回理事会でも静岡県放射線技師会が原子力災害医療協力機関として協力していくことについて承認を得たいと考えています。

何か質問等はありませんか? → 質問なし

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 15名

(全会一致承認)

②統一講習会についての件

9/19(土)～9/20(日)

和田会長

今回の統一講習会は静脈注射等の止血抜針の講習会を受講した方が対象となる。23名の参加希望があった。年2回開催を予定しないと期間内に終わらない可能性があり。平成27年4月1日より実施。厚生労働省の医事課長によると造影剤を投与

する際はアナフィラキシーショックを想定して医師又は看護師を必ず付ける。講習会をせず、医療事故が発生した場合は厳しい指導を受けることになる。

③第36回静岡ふれあい広場 9/6(日)

市川理事

7月27日から事前打ち合わせに何回か参加しました。また、今年度も超音波部会は、参加できなくなった。当日超音波の学術大会(静岡県が当番県)と重なってしまった為である。望月中部地区会長、静岡厚生病院の協力を得て例年と同様に超音波検査を行います。放射線技師の仕事についての啓蒙ですが昨年JARTからもらった診療放射線技師のことがわかる本を配布しましたが石川さんにJARTに問い合わせたところ現在配布の中止をされていて製本するには時間が無く、自分で今年度100部製本した。西部地区の分も印刷しました。東部地区は去年の残りを使用して頂く。技師会員参加者として中部地区会で12～13名、乳腺部会4名、管理士部会8名、医療安全推進2名、静岡厚生病院2名、八木副会長含めて3名で合計30名前後の人数となる予定です。例年、日立アロカ様に車等のお手伝い(2名)を頂いていたが、今年より出来ないとの連絡があった。荷物の運搬等は今後技師会主体で行わなければならない。ただ機械等の説明はして頂ける。また、もし台風等で中止になった場合、参加費はもどって来ません。企画申請書の承認をお願いします。

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 15名

(全会一致承認)

④第24回アール祭及び叙勲祝賀会についての件

1/23(土)

酒井総務理事

当日、新春公開講演会が静岡商工会議所で行わ

れ、徒歩3分の静岡第一ホテルで叙勲祝賀会を行います。会場は正面玄関を入り2階になります。7m×14mの会場で円卓が3つで行う。もし会場が狭い場合はドアを開放して少し物を移動して広くすることも可能である。マイク、金屏風は用意してもらえます。横看板も紙のものであれば貼ることが可能だそうです。立食プランで会費は1人5,000円で1人1,500円の飲み放題プランで料理は50人分で予約しました。人数超過の場合は料理の追加も可能。会場の1階に案内を出してもらい、2階の入り口の所にも立て看板を出して頂く。次にアール祭（叙勲祝賀会）概要案について新春公開講演会がおそらく16時20分頃に終わり、16時30分から受付開始し、また受付が石川さんと荒井理事2名では大変なので何名か補助してもらい、17時から祝賀会開始、①開会の言葉・司会者挨拶（山本副会長）②会長挨拶（和田会長）③叙勲者紹介（小池審査委員長）④叙勲者挨拶（中瀬会員）⑤記念品贈呈（和田会長）→記念品（和田会長が選定し2万円相当を予定している）、花束贈呈⑥乾杯の音頭（最年長者）⑦賛助会員紹介（山本副会長）⑧中締め（八木副会長）⑨閉会の言葉（望月副会長）19時終了予定。

和田会長

中瀬会員への招待状は？ひな形はあるのか探してみないとわからない？

酒井理事

総務の引き継ぎ内容でもひな形等はなく、和田会長にひな形等を探して頂く。中瀬会員が会長時（2期）の理事、監事36名、そのうち重複されている方が9名、退会が8名、データなしが2名、資格喪失者が2名で14名ぐらいに案内状を出す予定である。会員管理の柴田理事に正確な施設名、住所等の確認をする必要がある。こちらの案内状のひな形もあれば頂きたい。もしかしたら小池表彰委員長が持っている可能性があるのを確認して

みます。

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 15名

（全会一致承認）

⑤その他

和田会長

あと1ヶ月で会費の納入期限となります。例年会費の納入状況が非常に悪く、7月は102名の日放技から会費の納入があったと報告があった。8月分はまだ9月にならないとわからないが400名程度が未納状態で、各地区の組織理事に幹事会等で静岡県放射線技師会の会費の納入期限が9月30日になりますよと周知徹底を呼び掛けて頂きたい。

望月組織理事

昨年度、静放技の会費の減額で日放技と静放技の会費が別々で支払うようになっていたが今年度、口座振替で自動引き落としになっている場合はどの様になっているのか教えて頂きたい。また引き落とし日等は決まっているのでしょうか？

柴田会員管理理事

4月の初めに口座振替に手続きを行っている方に関しては引き落としされています。

次回理事会は平成27年12月5日（土）14:00～
静岡県放射線技師会事務所

*議長が、ほかに報告事項、協議事項がないか諮ったところ、全員より「特になし」の声が上がったので議長は議事の終了を宣言し16時20分閉会した。

平成27年8月29日

行事予定カレンダー (平成27年12月～平成28年3月)

12 月			1 月			2 月			3 月		
1	火		1	金	元 旦	1	月		1	火	
2	水		2	土		2	火		2	水	
3	木		3	日		3	水		3	木	
4	金		4	月		4	木		4	金	
5	土	第3回 理事会	5	火		5	金		5	土	東部地区総会 中部地区総会 第2回 放射線セミナー (中部) 第2回 胃がん検診従事 者講習会 (中部)
6	日		6	水		6	土	第15回 静岡県マンモグ ラフィ講習会(読影)	6	日	
7	月		7	木		7	日		7	月	
8	火		8	金		8	月		8	火	
9	水		9	土		9	火		9	水	
10	木	第16回常任理事会 (Web会議)	10	日		10	水		10	木	第22回常任理事会 (事務所)
11	金		11	月	成人の日	11	木	建国記念日 第57回 東海四県放射線 技師学術大会 (岐阜)	11	金	
12	土	第9回 医療安全セミナー	12	火		12	金	第20回常任理事会 (Web会議)	12	土	西部地区総会 第3回 放射線セミナー (西部) 第2回 胃がん検診従事 者講習会 (西部)
13	日		13	水		13	土		13	日	
14	月		14	木	第18回常任理事会 (事務所)	14	日	第44回(第1回 静岡県) デジタルマンモグラフィ 品質管理講習会	14	月	
15	火		15	金		15	月		15	火	
16	水		16	土	第28回 放射線技師のため のセミナー	16	火		16	水	
17	木		17	日	診療放射線技師基礎技術 講習 (消化管撮影)	17	水		17	木	
18	金		18	月		18	木		18	金	
19	土		19	火		19	金		19	土	平成27年度 静岡県放射 線技師研修会 第46回アンギオ部会研修 会・第4回静岡MRI技 術研究会合同研究会
20	日	第15回 静岡県マンモグ ラフィ講習会(撮影技術)	20	水		20	土		20	日	春分の日
21	月		21	木		21	日		21	月	振替休日
22	火		22	金		22	月		22	火	
23	水	天皇誕生日	23	土	新春公開講演会 (第25回アール祭)	23	火		23	水	
24	木	第17回常任理事会 (Web会議)	24	日		24	水		24	木	第23回常任理事会 (Web会議)
25	金		25	月		25	木	第21回常任理事会 (事務所)	25	金	ジャーナルVol.25 No.3 発行
26	土		26	火		26	金		26	土	
27	日		27	水		27	土	第4回 理事会	27	日	
28	月		28	木	第19回常任理事会 (Web会議)	28	日		28	月	
29	火		29	金		29	月		29	火	
30	水		30	土	第2回 放射線セミナー (東部) 第2回 胃がん検診従事 者講習会 (東部)				30	水	
31	木		31	日					31	木	

* 都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。
* 日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧ください。

編集後記

*11ページの会告、見ましたか？日消研の静岡大会！事前登録なら2日間参加しても3,500円。何が凄いのかって、3,500円であの内容のプログラムですよ！さすが全国大会！こんな充実した大会が浜松で開催されるのですから、これは参加しないと損です！大会ホームページもあるのでチェックしてみてください。2月20日・21日に浜松でお会いしましょう☆
(蒔田)

*そろそろ年末ですね。来年は申年だそうです。良いお年を
(島田)

*「いのしし会」この会は静岡地区と清水地区9施設に勤務した診療放射線技師の集まりです。年2回春と秋に集まり近況報告をしあっています。春には山梨へ一泊で温泉旅行に出かけ、温泉に浸かりながら猪鍋を囲み楽しいひと時を過ごしました。秋には静岡市内で飲み会と年齢構成は上は70歳下は63歳とその多くが年金生活者です。同じ技師仲間お互いに言いたいことを言い、好きなお酒を飲んで歌い楽しいひと時を過ごしています。発足から8年くらいが経過し現在会員数は9名です。これからも親睦を深めていきたいと思っています。
(赤池)

*定年後の2年目もすでに後半を過ぎました。仕事は1年間の半分以下になりました。最近は、一日一日を少しでも楽しく過ごせるように頑張っているつもりですが・・・。
(三輪)

*今年も気がつけばあと僅か。業務と技師会会務に追われ、時が経つのがすごく早く感じます。
(市川)

*2015年も残り1ヵ月となりました。時が経つのが早く感じます。今回のジャーナルには、2016年の勉強会やセミナーの情報が満載ですので、ぜひ御覧下さい。
(杉山)

会誌「しずおかジャーナル」Vol.25 No.2 2015 平成27年11月27日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202
公益社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 和田 健

編集者 : 蒔田 鎮 靖

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号
TEL(054)255-4862 FAX(054)253-2309

事務所案内

執務時間：月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで TEL(054)251-5954
執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : shizuhogi@ac.auone-net.jp